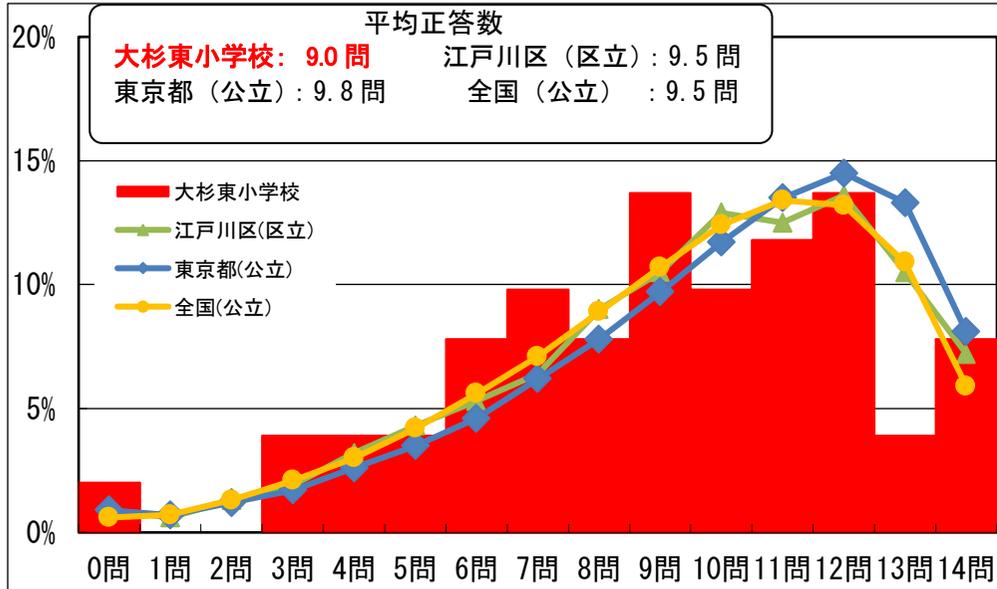


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】大杉東小学校

正答数分布



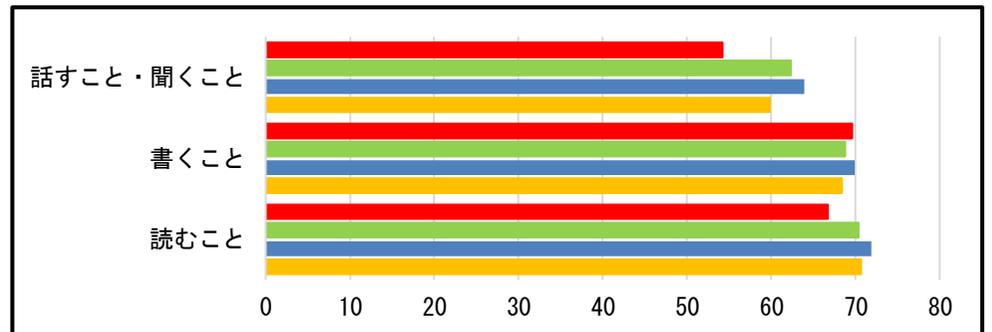
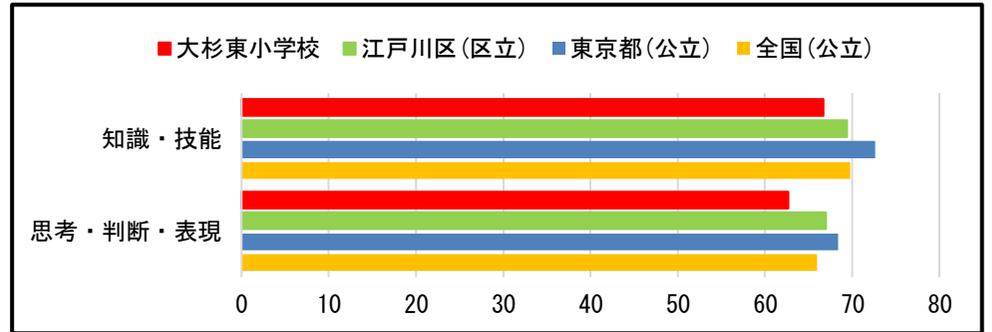
<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12~14問	B層 10~11問	C層 8~9問	D層 0~7問
大杉東小学校	25.5	21.6	21.6	31.3
江戸川区(区立)	31.3	25.4	19.5	23.8
東京都(公立)	35.9	25.2	17.5	21.4
全国(公立)	30.0	25.8	19.6	24.6

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

大杉東小学校	64%
江戸川区(区立)	68%
東京都(公立)	70%
全国(公立)	67.7%
都との差	6ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

- D層が多くなっているが、B層とC層にもう1問正解で上位層に上がる児童が多い。
- 領域別に見ると、「書くこと」が区や都に迫る正答率になっている。「話すこと・聞くこと」の正答率が約5割で区や都と比べると低くなっている。
- 「話すこと・聞くこと」の力が身につくよう、対話的な学習を通して、考えが伝わるように話すことや話を整理しながら聞くことの指導を深めていく。